大分市感染症発生動向情報

（2026年第46週　11月9日～11月15日）

今週の動向について　　（大分市保健所）

インフルエンザの患者報告数は15.76でした。
前週より増加しており、引き続き注意が必要です。

＜症状＞　1～3日ほどの潜伏期の後に発熱(38度以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などが突然現れ、咳や鼻水などの症状がこれに続きます。

＜経路＞　手指に付着したウイルスや、感染者の咳、くしゃみや会話などで生じるウイルスを含んだ飛沫や空気中を漂うエアロゾルが、目や気道の粘膜に侵入することで感染します。

＜予防＞　流水、石けんによる手洗い、咳エチケット(マスク等)を励行し、体の抵抗力を高めるために十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、適度な湿度(50～60%)の保持を心がけましょう。

RSウイルス感染症の患者報告数は0.45でした。
前週より減少していますが、引き続き注意が必要です。

RSウイルス感染症は感染力が強く、2歳頃までにほぼ100%の子どもが感染するとされる呼吸器の感染症です。

〈症状〉　軽い風邪症状から重い肺炎までさまざまです。初感染の乳幼児では肺炎、細気管支炎、急性脳炎などの合併症がおこる場合もあります。

〈経路〉　感染している人の咳やくしゃみ等しぶきを吸い込む飛沫感染と、ウイルスが潜んでいる鼻水や唾液等が付着した物や手指を触ったりなめたりすることで感染する接触感染があります。

〈予防〉　流水、石けんによる手洗いが基本です。流水と石けんでしっかりと手を洗い、タオルの共用は避け、使い捨てのペーパータオル等を使用しましょう。
保育園等、集団生活の場で感染が拡大しやすいため、おもちゃ等の消毒(アルコール等)に心がけましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
年齢区分	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（プール熱）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（水ぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎
0歳	0.41		0.09		0.09	0.82					0.55		
1～3歳	2.24	0.12	0.36	0.73	0.18	4.36				0.55	0.36	0.09	0.09
4～6歳	3.65			0.27	0.82	4.27					0.27		0.09
7～9歳	2.94				0.73	2.00	0.27	0.09			0.09		0.18
10～14歳	2.88	0.12		0.09	0.27	1.36	0.09				0.09		0.09
15～19歳	0.94					0.27							
20歳以上	2.71	0.47				0.09							
計（今週）	15.76 A型 15.40 B型 0.00 不明 0.36	0.71	0.45	1.09	2.09	13.18	0.36	0.09	0.00	0.55	1.36	0.09	0.45
70歳以上（再掲）	0.18	0.24											
前週	11.88	0.35	0.91	0.36	1.45	13.64	0.45	0.00	0.00	0.36	0.82	0.27	0.64

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点当たりに概算して計上
（定点医療機関数　インフルエンザ・新型コロナウイルス１７　小児科１１）

急性呼吸器感染症・・・咳嗽（がいそう）、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれかの1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
46週（今週）	5.59	33.88	21.88	12.47	3.59	1.12	2.18	2.76	0.82	0.76	0.47	0.24	85.76
45週（前週）	8.00	30.65	19.94	11.24	2.18	1.71	1.82	1.88	1.00	0.82	0.59	0.24	80.06

	年代	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25歳以上	合計（今週）	合計（前週）
全数報告（市内医療機関分）	麻しん	0	0	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0	0	0
	百日咳	0	0	0	1	1	0

警報・注意報の基準値

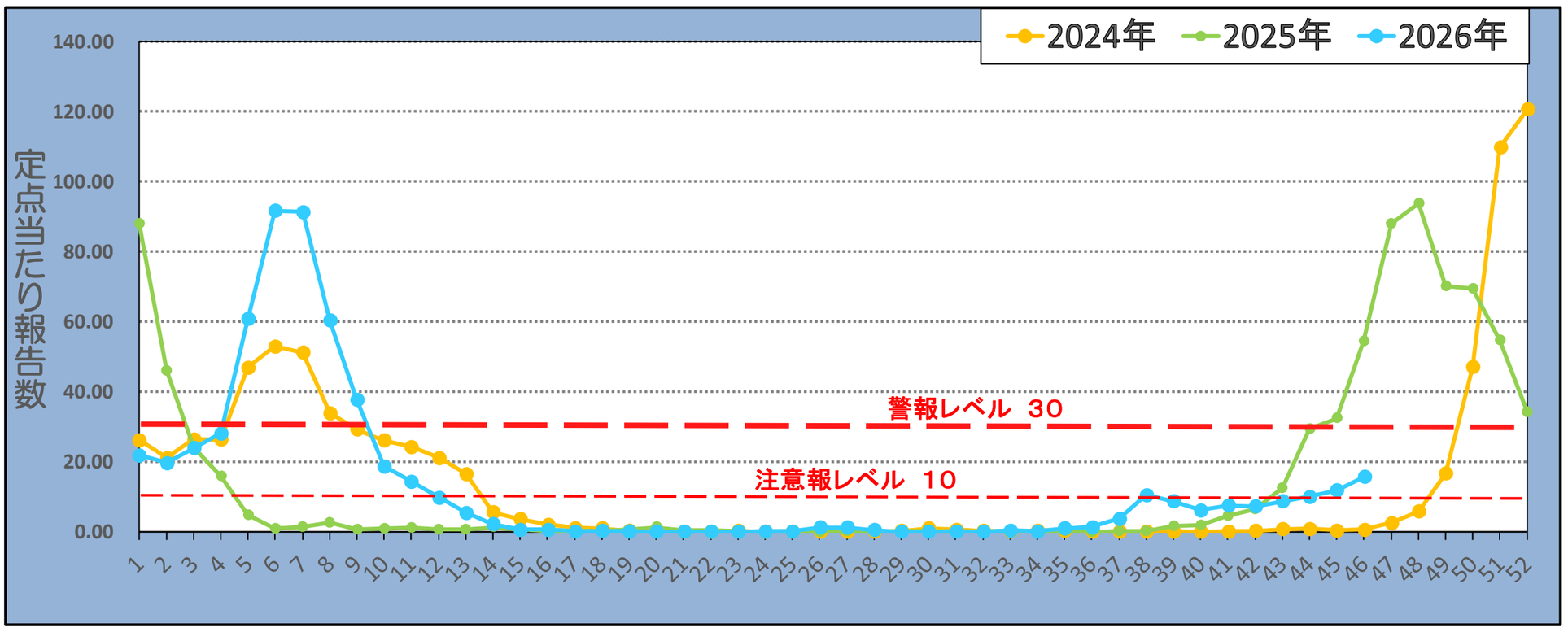
疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
感染性胃腸炎	20	12	

・警報レベル・・・大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

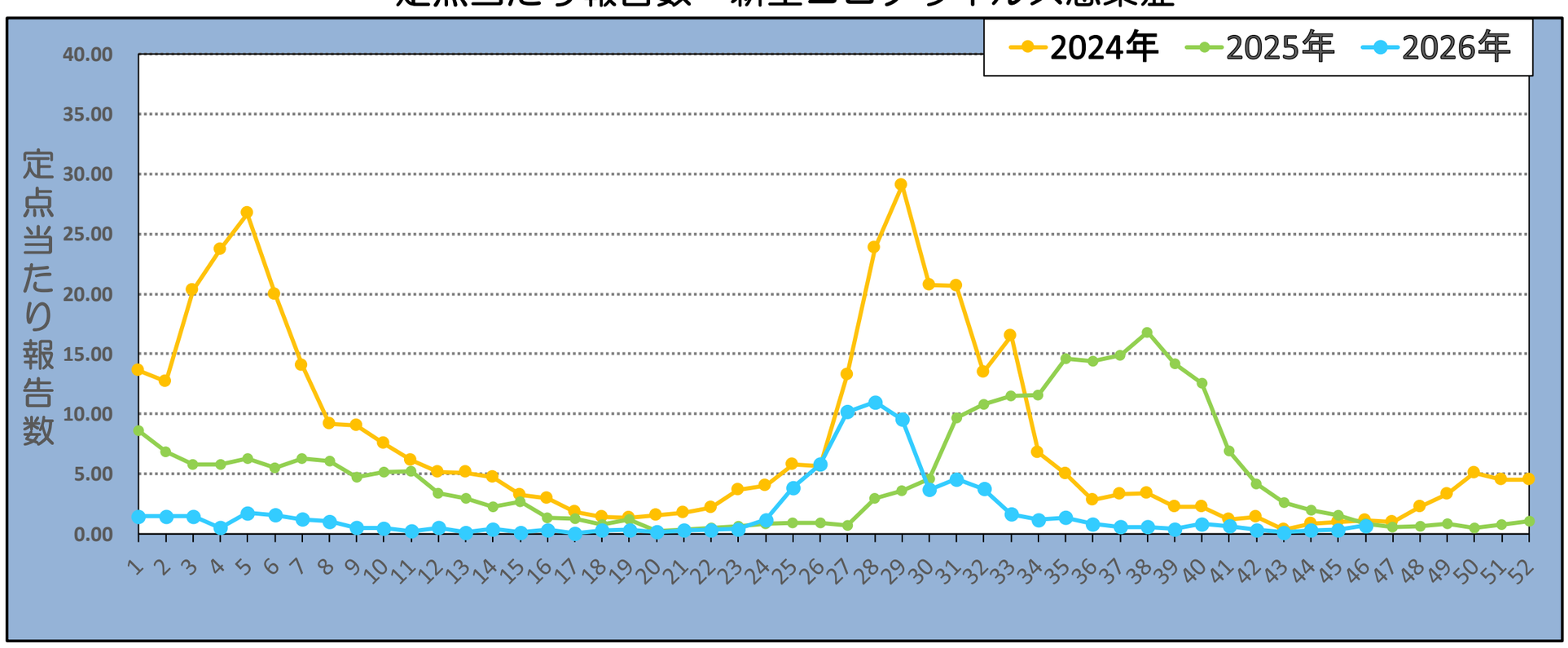
・注意報レベル・・・流行の発生前であれば今後４週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを示します。

※新型コロナウイルス感染症については、厚生労働省が「警報レベル」および「注意報レベル」は定めていません。そのため、大分県ではインフルエンザと同じ基準値を採用しています。

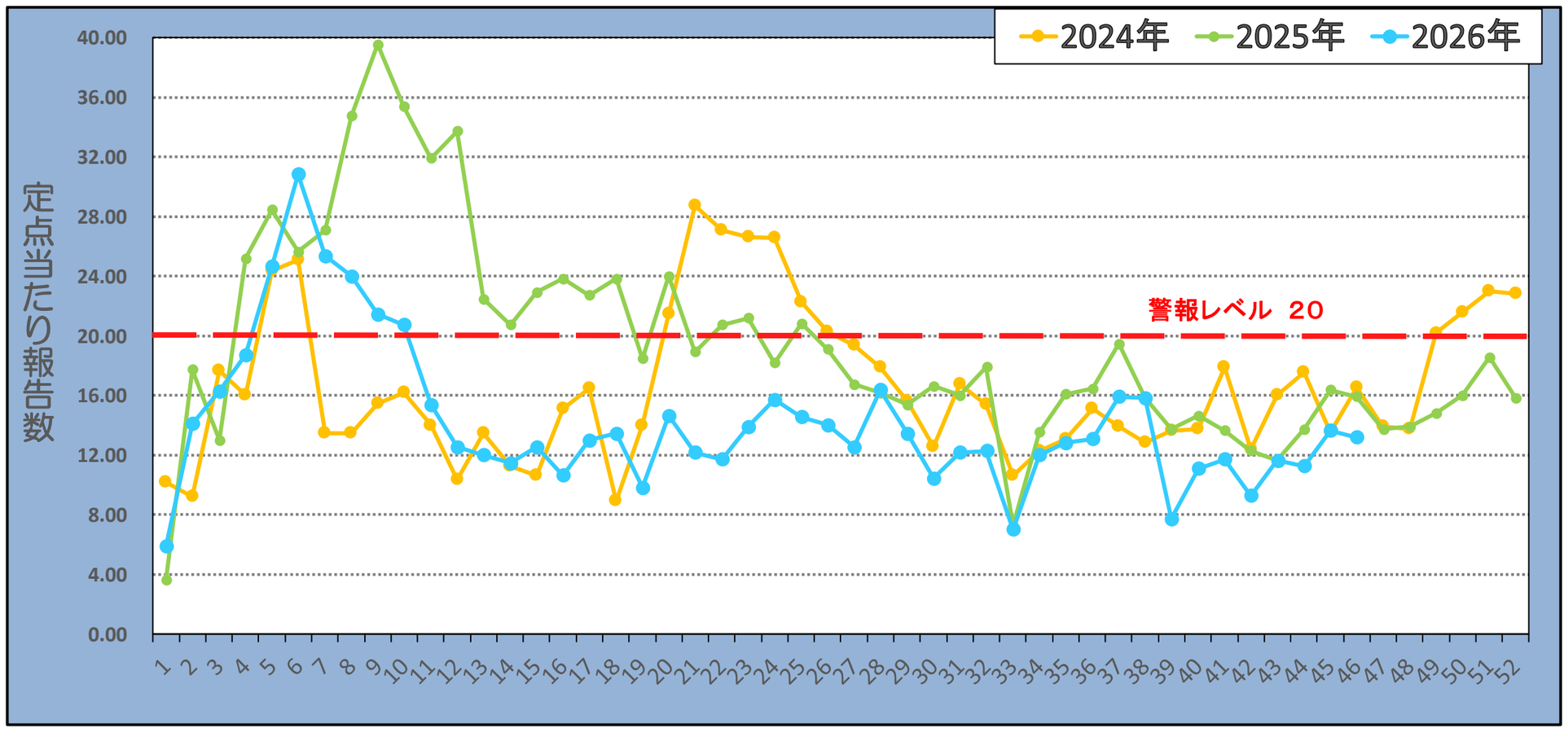
定点当たり報告数　インフルエンザ（3年間）



定点当たり報告数　新型コロナウイルス感染症

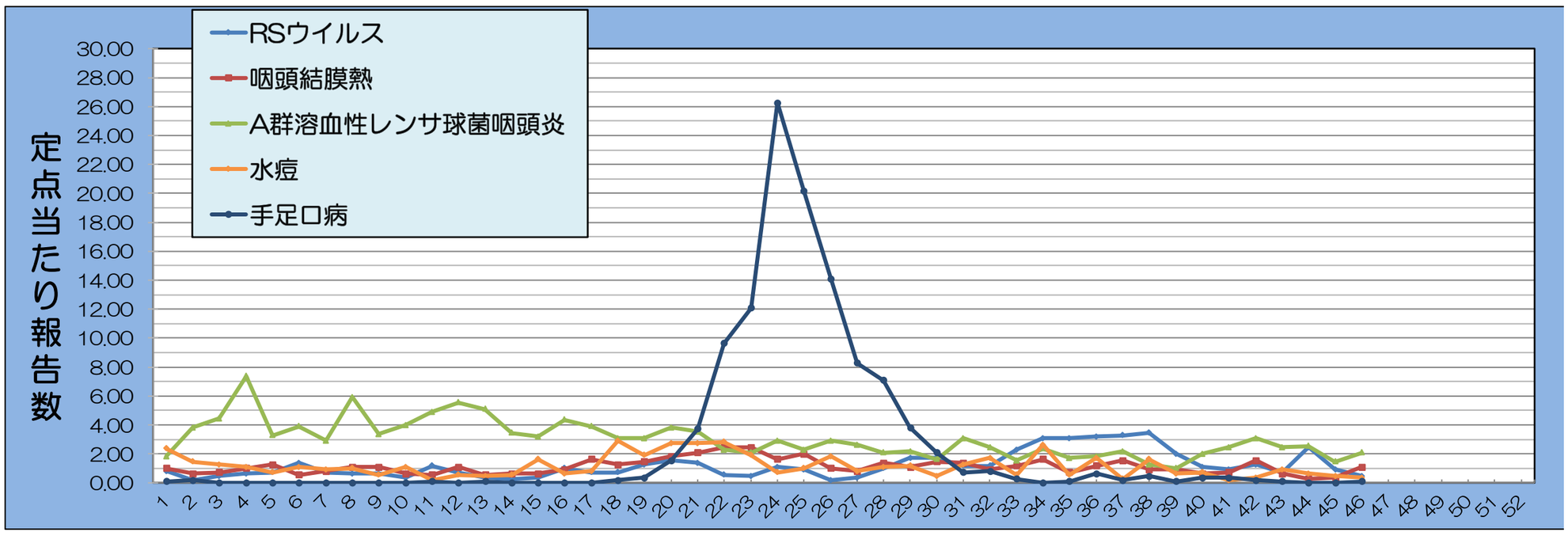


定点当たり報告数　感染性胃腸炎（3年間）

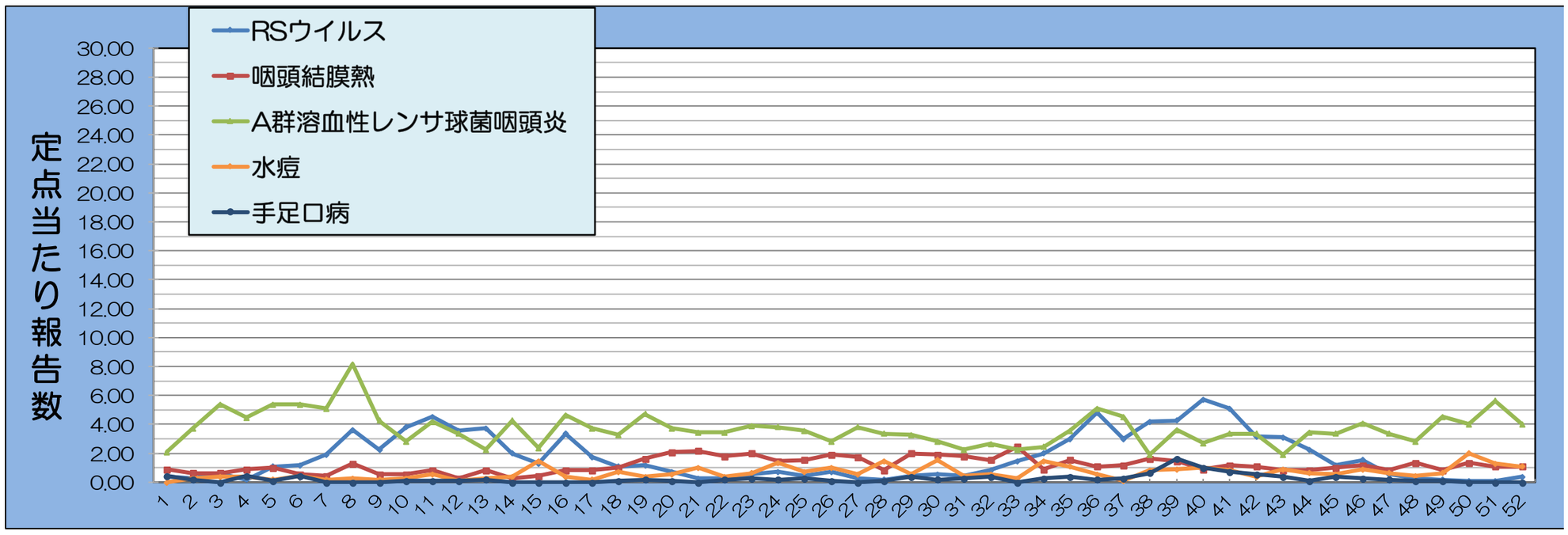


週別・疾病別患者数(グラフ)

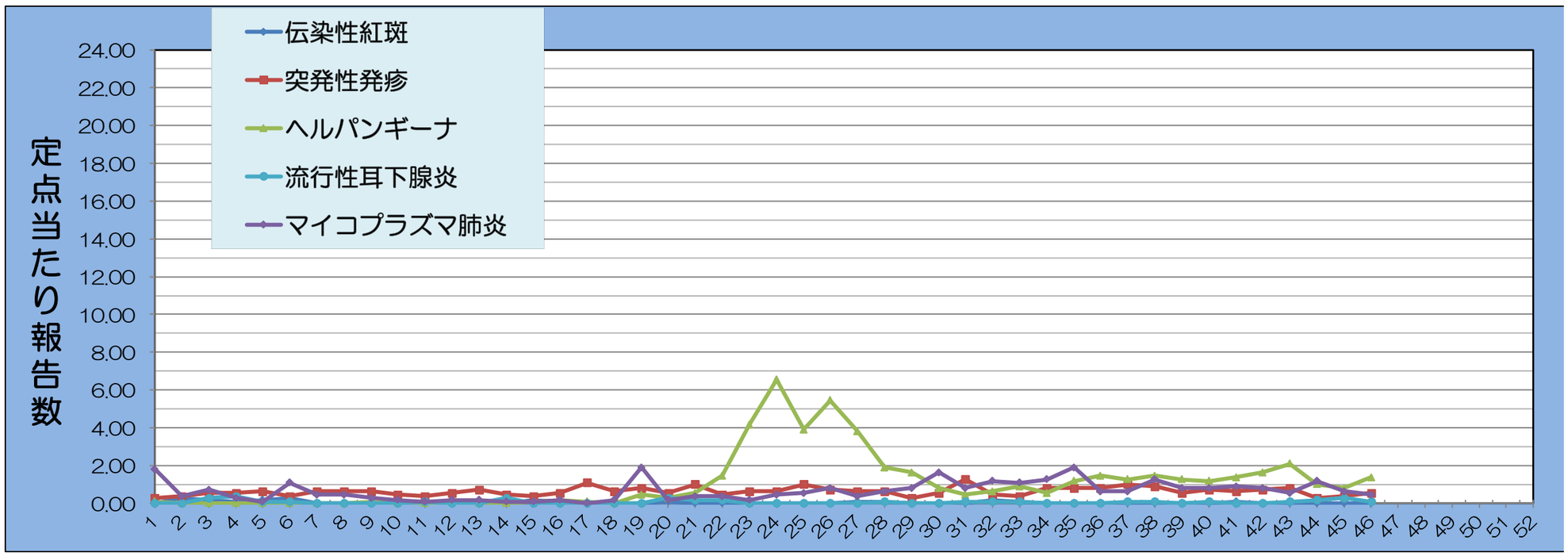
2026



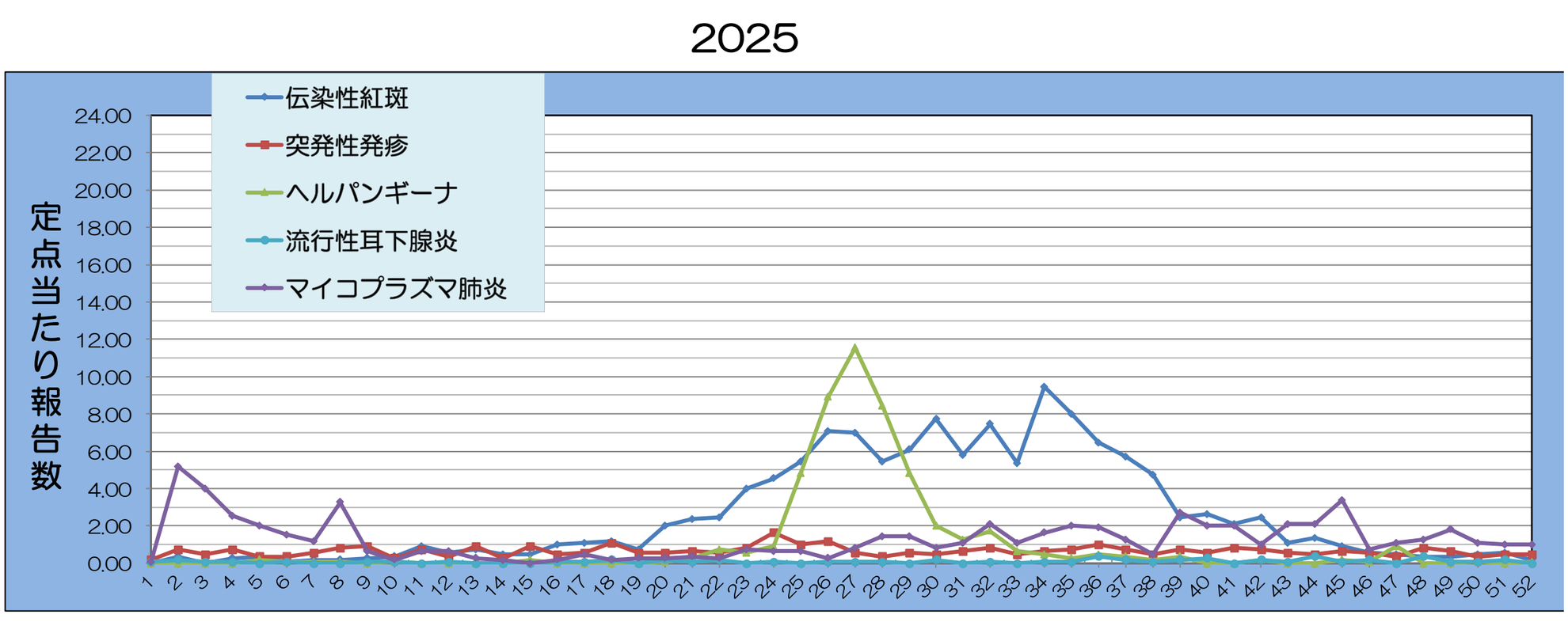
2025



2026



2025



掲載内容について不明な点は　大分市保健所保健予防課（TEL097-536-2851　FAX097-532-3356）までお問い合わせ下さい。